

第35回麒麟獅子マラソン大会 新型コロナウイルス感染症 予防対策マニュアル（案）



麒麟獅子マラソン大会実行委員会

目次

目次	1
I. 新型コロナウイルス対応の基本方針	2
1 新型コロナウイルス対応の基本方針	3
2 新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA	3
3 兵庫県新型コロナウイルス追跡システム	3
II. 各対象者における感染予防措置	4
1 全対象共通	5
2 主催者・大会関係者	6
3 競技役員（審判員）・補助員	7
4 選手・監督・コーチ	8
5 メディアプレス関係者	9
6 来場者	9
III. 運用計画	10
1 体調管理チェックシート	11
2 大会の運営方法	14
3 注意喚起サイン	16
4 対策物品	17
IV. 緊急対応	18
V. 開催可否の判断	23

Ⅰ．新型コロナウイルス対応の基本方針

1. 新型コロナウイルス対応の基本方針

本ガイドラインは、公益財団法人日本陸上競技連盟が定めた「ロードレース再開についてのガイダンス（第3版/2021年1月15日改訂）」や、日本スポーツ協会が定めた「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（2021年11月5日改訂）」等をもとに感染リスクを低減させた競技運営を目指し最低限必要とされる推奨事項を示すことを目的に作成された。

主催者、競技者、大会役員、競技役員など全ての関係者は、開催自治体である新温泉町の方針に則った上で、本ガイドラインに従い行動し、感染リスクを最小限に抑え、クラスターを発生させない体制を整備し、競技会を再開していくことが求められる。

また、このような状況の中での大会開催は、主催者・運営サイドだけでなく、参加する競技者・関係者の協力なしには感染リスクを最小限に抑えた大会運営は難しい。本ガイドラインを周知した上で、大会に関わる全ての人に協力と対応をお願いしたい。

1 新型コロナウイルス対応の基本方針

- 体調管理チェックシートの事前提出、事後記録
- マスクの着用
- 検温の実施
- 手指消毒・手洗いの徹底
- 3密（密閉・密集・密接）の回避
- 接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨

2 新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA

- スマートフォンを保有するすべての競技者、チーム関係者（指導者、トレーナー、チームスタッフ）、観客、報道者、競技役員、スタッフなど会場に入る関係者は当アプリをインストールすることを推奨する。

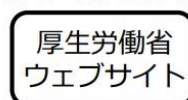
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら

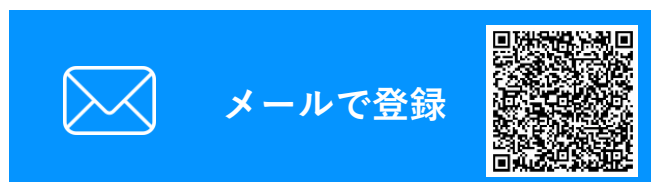


詳しくはこちら



3 兵庫県新型コロナウイルス追跡システム

- 店舗やイベント等ごとに発行された固有のQRコードを利用者が読み取り、メールアドレスまたは、LINEで登録しておくと同じ時間帯の利用者に感染が確認された場合、注意喚起メール等が届くサービスです。積極的にご登録ください。



Ⅱ．各対象者における感染予防措置

II. 各対象者における感染予防措置

1 全対象共通

場所/状況	目的	対象実施項目
事前の準備	水際対策	厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストール、兵庫県新型コロナウイルス追跡システムの利用を推奨する。
入場時	飛沫・接触回避	入場時には、マスク着用確認を行う。未着用者には、着用を促す。また、正しい着用方法の協力をお願いする。
	検温	サーモグラフィーや非接触型体温計を使用して、37.5℃以上の発熱がないか確認する。
	水際対策	体調管理チェックシートを受付時または事前に提出していただき、入場可否判断を行う。（P12参照） また、新型コロナウイルスワクチン接種済証かPCR検査等による陰性証明書を提示する。
会場内	飛沫・接触回避	会場内のゴミ箱を撤去し、飲み残し飲料や鼻水、唾液などの付着したゴミは自己責任で処理するように事前周知及び会場内でアナウンスする。
	消毒・除菌	手指用アルコール消毒液を各所（特に出入口等）に設置し、手指消毒を行う。 やむを得ず、共有する物品についてはこまめに消毒を行う。
	「3密」回避	会場内のレイアウトを工夫し、ソーシャルディスタンス（1m～2m）を確保する。
トイレ	飛沫・接触回避	各自ハンカチやタオルを用意し、手を清潔に保つよう心掛ける。可能な限り、ペーパータオルやゴミ箱を設置し、こまめに空にする。 便座のふたがあるトイレはふたをしてから流す。
	消毒・除菌	手洗い場にハンドソープ及び手指用アルコール消毒液を設置する。
	「3密」回避	競技者とそれ以外の大会関係者のトイレを分けることが望ましい。
大会終了後	水際対策	大会終了後2週間、体調管理チェックシートにて体調の記録を行う。 体調不良が4日以上続く場合、各自で保健所、診療所(かかりつけ医)

等に相談し、その後大会主催者へ報告する。

II. 各対象者における感染予防措置

2 主催者・大会関係者

場所/状況	目的	対象実施項目
事前の準備	水際対策	新型コロナウイルス感染症対策室を設置する。主催者・後援団体等で構成する。体調管理チェックシートの管理、感染予防マニュアルの周知・徹底を図る。
設営/撤去	水際対策	体調管理チェックシートを事前に提出してもらい、参加可否の判断を行う。（P12参照） また、新型コロナウイルスワクチン接種済証かPCR検査等による陰性証明書を提示する。
	飛沫・接触回避	マスク着用を基本とし、必要に応じてフェイスシールドや使い捨て手袋を着用してもらう。但し、ソーシャルディスタンスを確保すればこの限りではない。
	消毒・除菌	作業前、作業後に手指のアルコールを行う。手洗いができる状況であれば石鹸を使用した手洗いが望ましい。
ゾーニング	「3密」回避	可能な限り、選手との導線を分ける。
入場管理	水際対策	体調管理チェックシートを事前に提出してもらい、参加可否の判断を行う。
医務室	飛沫・接触回避	医療用個人防護用具（フェイスシールド、使い捨て手袋、マスク等）を準備し、適宜利用する。
		37.5℃以上の発熱者が出た場合は隔離室またはパーテーション等で仕切ったスペースを設ける。競技者がケガ・発熱をした場合は医務室へ。競技者以外の大会関係者が発熱した場合は原則、退場とし、帰宅を促す。（状況に応じて医務室へ）
大会終了後	消毒・除菌	大会終了後（前日練習、前々日準備等を含む業務終了後）使用した諸室のテーブルや椅子等共有物を消毒する。

II. 各対象者における感染予防措置

3 競技役員（審判員）・補助員

場所/状況	目的	対象実施項目
委嘱	水際対策	新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者)を持っている者は辞退する。
事前提出	水際対策	体調管理チェックシートを事前に提出してもらい、参加可否の判断を行う。(P12参照) また、新型コロナウイルスワクチン接種済証かPCR検査等による陰性証明書を提示する。
競技役員受付	水際対策	入場時に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある者の入場をお断りする。
	飛沫・接触回避	受付を担当する競技役員(スタッフ)はマスク着用を原則とする。また、パーテーションを設置し対応する。
	「3密」回避	受付を待つ列ができることを想定し、足元マーキングを1m～2m間隔で設置する。
選手へのアナウンス	飛沫・接触回避	大きな声を出すことがないように、拡声器や放送器具を用いる。使用した拡声器等は使用者が変わるごとに、消毒を行う。また、必要に応じてフェイスシールドや使い捨て手袋を着用する。
競技中 競技後	飛沫・接触回避	出場選手の救急対応に備え、飛沫感染を防止するためのフェイスシールドや使い捨て手袋を携行する。携行できない場合は保管場所を把握し、周知・徹底、装着できるようにしておく。 選手に触れたり、近距離に接近する部署の役員および補助員はこまめに手指の消毒を行い、マスクの着用はもちろんのこと、使い捨て手袋やフェイスシールドを活用する。
	消毒・除菌	共有物を使用した後は手指の消毒や石けんを用いた手洗いをする。 競技終了後(前日・当日練習を含む)、使用した競技備品を消毒する。

II. 各対象者における感染予防措置

4 選手・監督・コーチ

- 日本陸上競技連盟策定“ロードレース再開についてのガイダンス（第3版/2021年1月15日改訂）”をよく確認していただき、選手の参加や関係者の来場について、感染対策を講じること。次の措置のうえ、参加をお願いしたい。

※日本陸連ホームページ <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>

場所/状況	目的	対象実施項目
事前提出	水際対策	体調管理チェックシートを受付時に提出してもらい、参加可否の判断を行う。（P12参照） また、新型コロナウイルスワクチン接種済証かPCR検査等による陰性証明書を提示する。
選手受付	水際対策	入場時に非接触式検温器にて検温を実施する。
	飛沫・接触回避	受付を担当する競技役員(スタッフ)はマスク着用を原則とする。また、パーテーションを設置し対応する。
	「3密」回避	受付を待つ列ができることを想定し、足元マーキングを1m～2m間隔で設置する。
会場内	消毒・除菌	手洗い・手指の消毒を促すサイン掲示を行い、各所にアルコール消毒液を設置する。
	飛沫・接触回避	ゴミ(汗を拭いたウェットティッシュなど)や汗を拭いたタオルなどについてはビニール袋に入れて各自持ち帰るようアナウンスする。 事前周知及び受付時の注意喚起にて周知を行う。
		飲み物やタオル等を他人と共有しないよう、サイン掲示にて注意喚起を行う。
更衣室 トイレ	消毒・除菌	手洗い場にハンドソープ、ペーパータオル、ゴミ箱を設置する。
	「3密」回避	競技前の更衣室の使用は控え、事前に着替えておく。また、更衣室使用の際は、速やかに着替えて滞在時間を最小限にとどめるよう、サイン掲示にて注意喚起を行う。

II. 各対象者における感染予防措置

5 メディアプレス関係者

場所/状況	目的	対象実施項目
事前提出	水際対策	体調管理チェックシートを事前に提出してもらい、参加可否の判断を行う。（P12参照） また、新型コロナウイルスワクチン接種済証かPCR検査等による陰性証明書を提示する。
受付	水際対策	入場時に非接触式検温器にて検温を実施する。
	飛沫・接触回避	受付を担当する競技役員(スタッフ)はマスク着用を原則とする。 また、パーテーションを設置し対応する。
	「3密」回避	受付を待つ列ができることを想定し、足元マーキングを1m～2m間隔で設置する。 入場は事前申請のみとし、入場数の制限を行う。 ビブス等を用意し、報道関係者を管理する。
撮影エリア	飛沫・接触回避	取材時の正しいマスク着用を徹底する。必要に応じて、各自用意した感染症対策物品を着用する。
	「3密」回避	ソーシャルディスタンスの確保のため、撮影エリアを区切る。

6 来場者

場所/状況	目的	対象実施項目
受付	水際対策	体調管理チェックシートを事前(もしくは来場時(受付時))に提出してもらい、参加可否の判断を行う。 また、入場時に非接触式検温器にて検温を実施する。
	飛沫・接触回避	受付を担当する競技役員(スタッフ)はマスク着用を原則とする。 また、パーテーションを設置し対応する。
	「3密」回避	受付を待つ列ができることを想定し、足元マーキングを1m～2m間隔で設置する。
観戦時	飛沫・接触回避	声を出しての応援をしないよう、サイン掲示を行う。

Ⅲ. 運用計画

Ⅲ. 運用計画

1 体調管理チェックシート

≫ チェック項目

- 1 のどの痛みがある
- 2 咳（せき）が出る
- 3 痰（たん）が出たり、からんだりする
- 4 鼻水が出たり、鼻づまりがある ※アレルギー（花粉症）を除く
- 5 頭が痛い
- 6 体のだるさ（倦怠感）がある
- 7 発熱の症状がある（37.5℃以上）
- 8 息苦しさがある（呼吸困難）
- 9 味覚異常（味がしない）
- 10 嗅覚異常（匂いがしない）

≫ 入場参加をお断りする判断基準

- 大会前2週間以内に37.5℃以上の発熱が認められる場合
- 大会前2週間以内に1つでもチェック項目に該当がある場合
- 明らかに体調不良が確認できる場合
- 当日、会場検温で37.5℃以上の発熱が認められる場合

≫ 提出方法

- 競技者等は、当日各受付にて提出する。
- 大会スタッフ等は、事前に所属ごとに集約し、大会事務局へ提出する。

≫ 保管廃棄について

- 麒麟獅子マラソン大会実行委員会事務局がすべてを集約し、1か月程度保管し、その後廃棄する。

Ⅲ. 運用計画〔体調管理チェックシート〕

≫ 大会前／提出用

第35回 麒麟獅子マラソン大会

✓をお願いします → ☐ 競技者 ☐ 監督・コーチ ☐ 大会役員 ☐ 報道関係者 ☐ 観客

【大会前/提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

本チェックシートは本大会において、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、入場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて、感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。 ✓をお願いします → ☐ 個人情報の取得・利用・提供に同意する

※大会2週間前から記入し、大会当日に主催者の指示に従い指定の場所に提出すること。

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温は0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	5/9(月)	5/10(火)	5/11(水)	5/12(木)	5/13(金)	5/14(土)	5/15(日)	5/16(月)	5/17(火)	5/18(水)	5/19(木)	5/20(金)	5/21(土)	5/22(日)
1	のどの痛みがある														
2	咳（せき）が出る														
3	痰（たん）が出たり、からんだりする														
4	鼻水（はなみず）、鼻詰まりがある														
5	頭がいたい														
6	体のだるさなどがある														
7	発熱の症状がある														
8	息苦しさがある														
9	味覚異常（味がしない）														
10	嗅覚異常（匂いがしない）														
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
12	薬剤の服用（解熱剤を含む、上記症状を緩和させる薬剤）														

氏名 _____ (競技者のみ) ☐ 1部 ☐ 2部 ☐ 3部 ☐ 4部 ☐ 5部 ☐ 6部 ☐ 7部 ☐ 8部 ☐ 9部
 ナンバーカード番号 _____ 部門 ☐ 10部 ☐ 11部 ☐ 12部 ☐ 13部 ☐ 14部 ☐ 15部 ☐ 16部 ☐ 17部 ☐ 18部

所属 _____ 連絡先 _____ 保護者氏名（参加者が未成年の場合） _____

☐ 随行者についても、上記を確認済みであることを証明します。 署名（未成年の場合は保護者） _____

大会後個人管理用（保管用）

第35回 麒麟獅子マラソン大会

【大会後/個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会終了2週間後は健康チェックをすること。

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温は0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	5/23(月)	5/24(火)	5/25(水)	5/26(木)	5/27(金)	5/28(土)	5/29(日)	5/30(月)	5/31(火)	6/1(水)	6/2(木)	6/3(金)	6/4(土)	6/5(日)
1	のどの痛みがある														
2	咳（せき）が出る														
3	痰（たん）が出たり、からんだりする														
4	鼻水（はなみず）、鼻詰まりがある														
5	頭がいたい														
6	体のだるさなどがある														
7	発熱の症状がある														
8	息苦しさがある														
9	味覚異常（味がしない）														
10	嗅覚異常（匂いがしない）														
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

※症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの保健所、診療所等で指導を受け受診してください。

症状には個人差がありますので強い症状と思う場合には時間を空けず受診してください。

※PCR検査等で陽性の場合は、保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者（麒麟獅子マラソン大会実行委員会）に連絡ください（事務局 TEL0796-82-4512）

Ⅲ. 運用計画

2 大会の運営方法

≫ 参加人数と種目、コース

- 3 密回避、時間短縮のため 3,500 人から 1,500 人に減らす。
- 参加人数減少に伴い、種目については「5km」を無くし、「ハーフ」と「10km」「3km」で実施する。(上限 ハーフ 800 人、10km 400 人、3km 300 人)
- コース上の混雑を緩和するため「10km」のコースを一部変更する。
- コロナ対策のため「3km」を鳥取県東部・新温泉町・香美町のみ参加可とする。

≫ 受付

- 参加者、スタッフ受付をそれぞれ設ける。
- 参加者受付は 10 か所設置し、混雑を避ける。また、受付で検温と体調管理チェックシート及び、新型コロナウイルスワクチン接種済証[2 回接種済](但し、状況により 3 回目接種の証明書を求める)か PCR 検査等による陰性証明書(検体採取日より 3 日以内)を確認し、問題がなければリストバンドを配布します。
- 足元マーキングとして、1m~2m の間隔で白線を引く。

≫ スタートとタイム計測について

- スタートエリアでは、一人当たり 1 m²を確保する。
- ハーフ、10km はウェーブスタートとし、ハーフは 3 段階、10km は 2 段階に分ける。各スタートの時間差は 5 分とする。
- 3km は人数が少ないため、一斉スタートとする。
- スタート直前まではマスク着用とする。
- ウェーブスタートの為、記録はネットタイムを計測する。

≫ 更衣室と貴重品預かりについて

- 混雑緩和のため、男女ともに 2 会場用意する。
- 更衣室での密を避けるため、参加者には事前に着替えてくることを推奨し、周知する。また、着替えは指定の袋に入れ、指定の場所にて預かる。
- 簡易テント設営場所を設け、参加者の待機・更衣の分散を図る。
- コロナ対策のため、貴重品預かりは行わない。

Ⅲ. 運用計画

≫ 給水所について

- 紙コップでの支給はせず、持参または支給のマイボトルでのセルフ給水とする。
- 混雑回避のため、各配置で 50m 間隔を置き、給水所を設置する。

≫ イベントについて

- 前夜祭、麒麟獅子舞、物産展、鰯団子汁・軽食の提供は行いません。
- 抽選会については事前抽選とし、当日の混雑を避ける。

≫ 記録閲覧・記録証について

- 当日の混雑を緩和するため、記録計測後、インターネットで閲覧できるようにする。また、ネット環境の整っていない方のために、会場での掲載も行う。
- 記録証の発行は原則インターネットとし、ネット環境のない方は当日発行する。

≫ 表彰について

- 「3 密」回避のため表彰式は行わず、アナウンスに従い本部より配布する。本部に取りに来られなかった場合、後日郵送する。
- 時間短縮、混雑回避のため表彰は 6 位までとする。

≫ 開・閉会式について

- 「3 密」回避、混雑緩和のため、簡素化して行います。

Ⅲ. 運用計画

3 注意喚起サイン



注意喚起サイン



【受付】

検温のお願い

サーモグラフィー



【受付】

検温のお願い



【受付】

間隔をあけて

お待ちください



手指消毒のお願い



“声援”は
お控えください。



体調管理チェックシ
ートの提出をお願い
いたします。



【更衣室・トイレ】
長時間のご利用はお
控えください。

Ⅲ. 運用計画 ー 対策物品 ー ※写真はイメージです。

4 対策物品

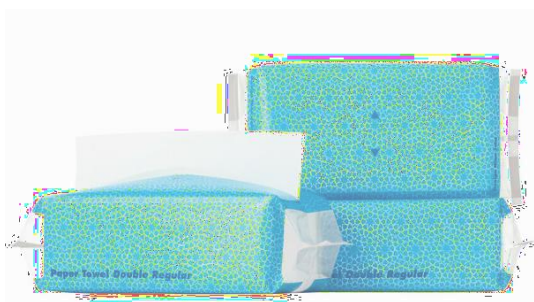
■ 手指用アルコール消毒液



■ アルコール除菌シート



■ ペーパータオル



■ 不織布マスク



■ 使い捨て手袋



■ フェイスシールド



■ サーマルカメラ



■ ハンディー型非接触型体温計



△ペーパータオル・不織布マスク・使い捨て手袋・フェイスシールドはメディカルスタッフ用とは別に準備すること

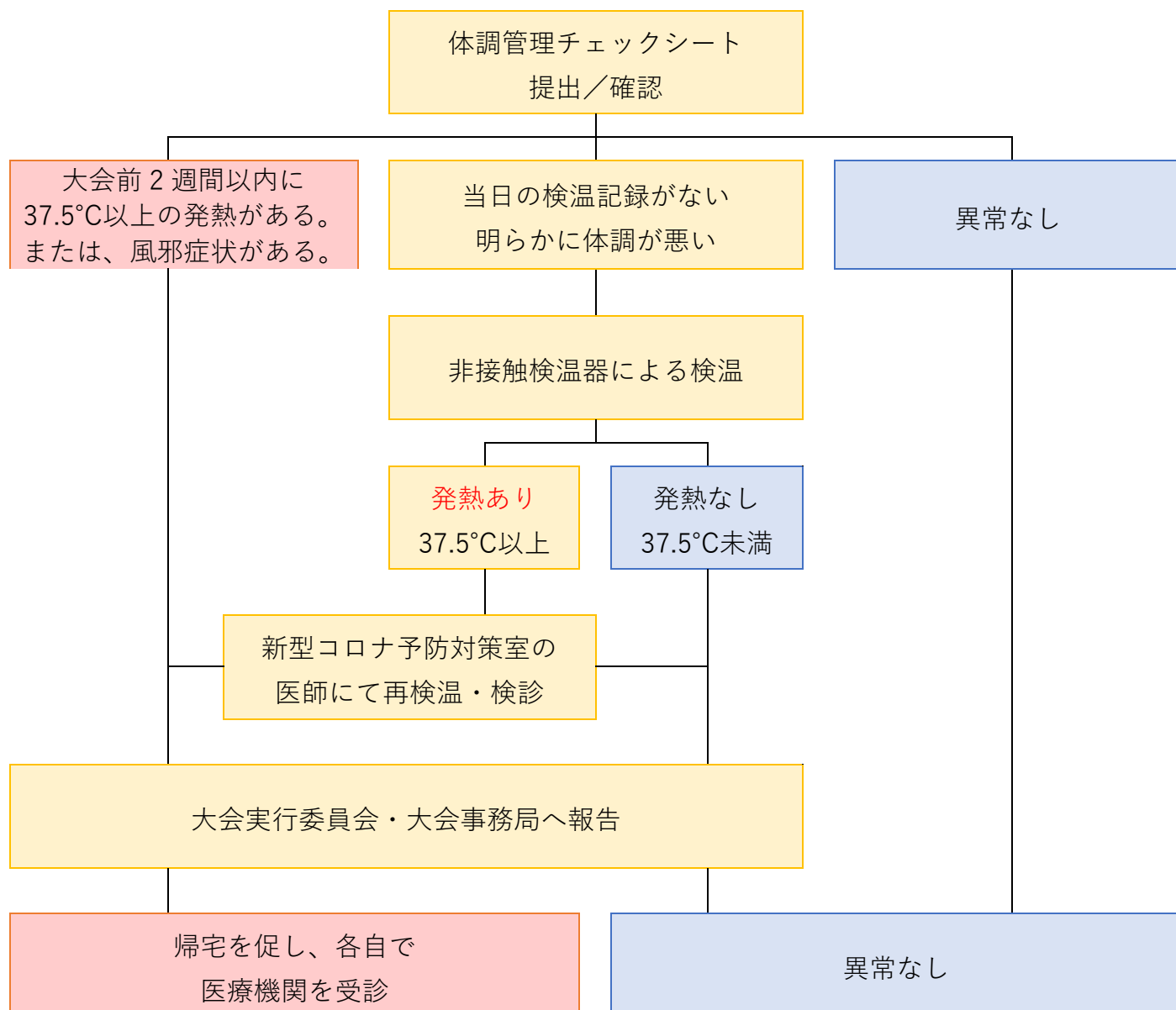
IV. 緊急対応

Ⅳ. 緊急対応〔体調不良者発生時の対応〕

≫ 緊急対応の基本方針

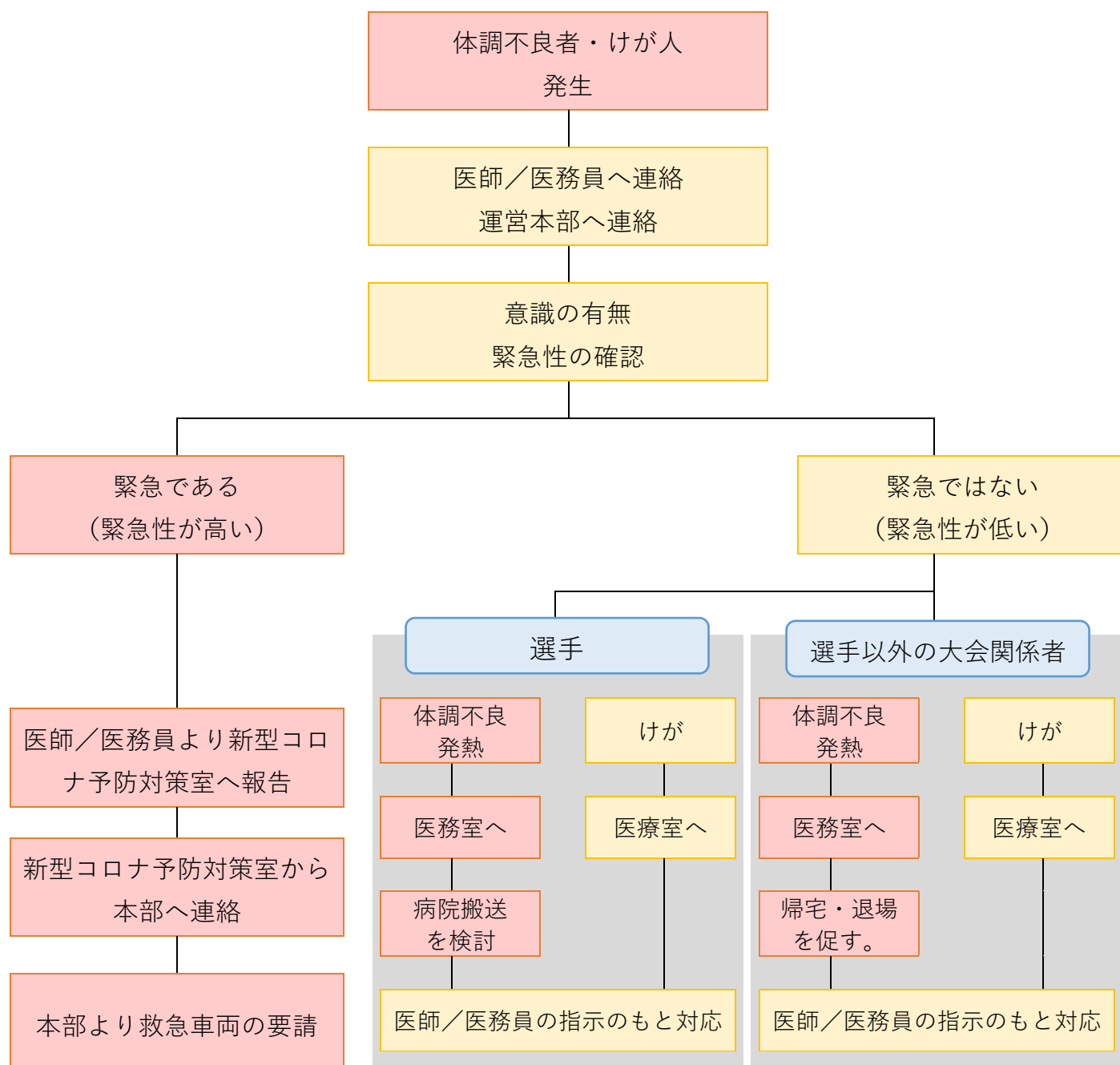
- (1) 対策責任者（新型コロナ予防対策室長）は、参加者から新型コロナウイルス感染症（以下：当該感染症）発生 の 報告を受けた場合の対処方針を開催自治体（新温泉町）と十分に検討しておく。
- (2) 大会終了後 2 週間以内に当該感染症を発症した場合は、感染者本人またはチームの責任者、保護者等が対策責任者に対して速やかに連絡するよう周知すること。
連絡先：麒麟獅子マラソン大会事務局（新温泉町体育協会）TEL 0796-82-4512
- (3) 感染症が出た場合、保健所に速やかに連絡し、指示に従い協力すること。

≫ 入場時、受付時での体調不良者発生時の対応フロー



Ⅳ. 緊急対応〔体調不良者発生時の対応〕

≫ 入場後、開催中での体調不良者発生時の対応フロー



緊急性の高い 13 の症状

- 表情・外見 顔色が明らかに悪い、唇が紫色になっている、いつもと違う、様子がおかしい。
- 息苦しさ 息が荒くなった（呼吸数が多くなった）、急に息苦しくなった、生活をしていて少し動くと息苦しい、胸に痛みがある、横になれない、座ると息ができない、肩で息をしている、突然（2 時間以内が目安）“ゼーゼー”し始めた
- 意識障害 ぼんやりしている、反応が悪い、意識がもうろうとしている、脈がとぶ、リズムが乱れる

Ⅳ. 緊急対応〔体調不良者発生時の対応〕

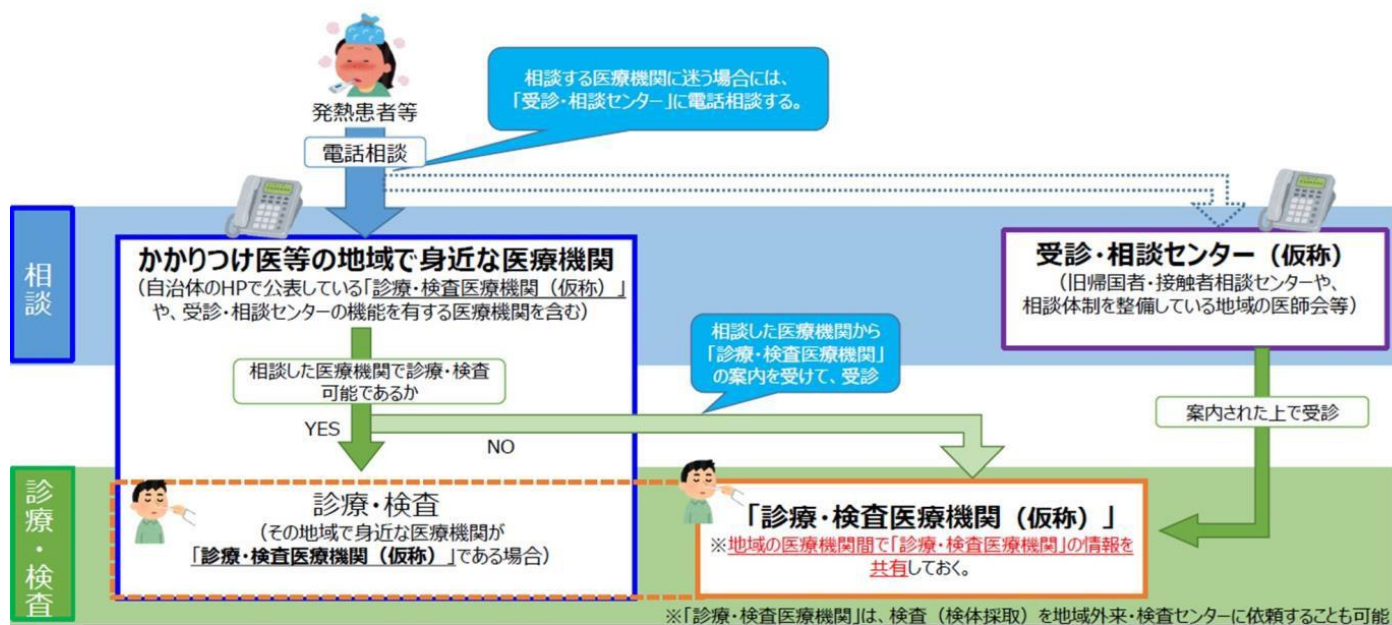
≫ 症状があり、帰宅・退場を促す際の対象者への案内

- チェックリスト項目が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医）等に報告・相談・受診をしてください。
- 症状が続かなくても、強い症状だと思う場合も、同様に最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医）等に報告・相談・受信をしてください。
- 高齢の方、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方は、最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医）等に報告・相談・受信をしてください。

- PCR 検査等で「陽性」反応が出た場合は速やかに、麒麟獅子マラソン大会実行委員会事務局（新温泉町体育協会）へ連絡してください。

新温泉町体育協会 事務局 TEL 0796-82-4512

≫ 検査フロー

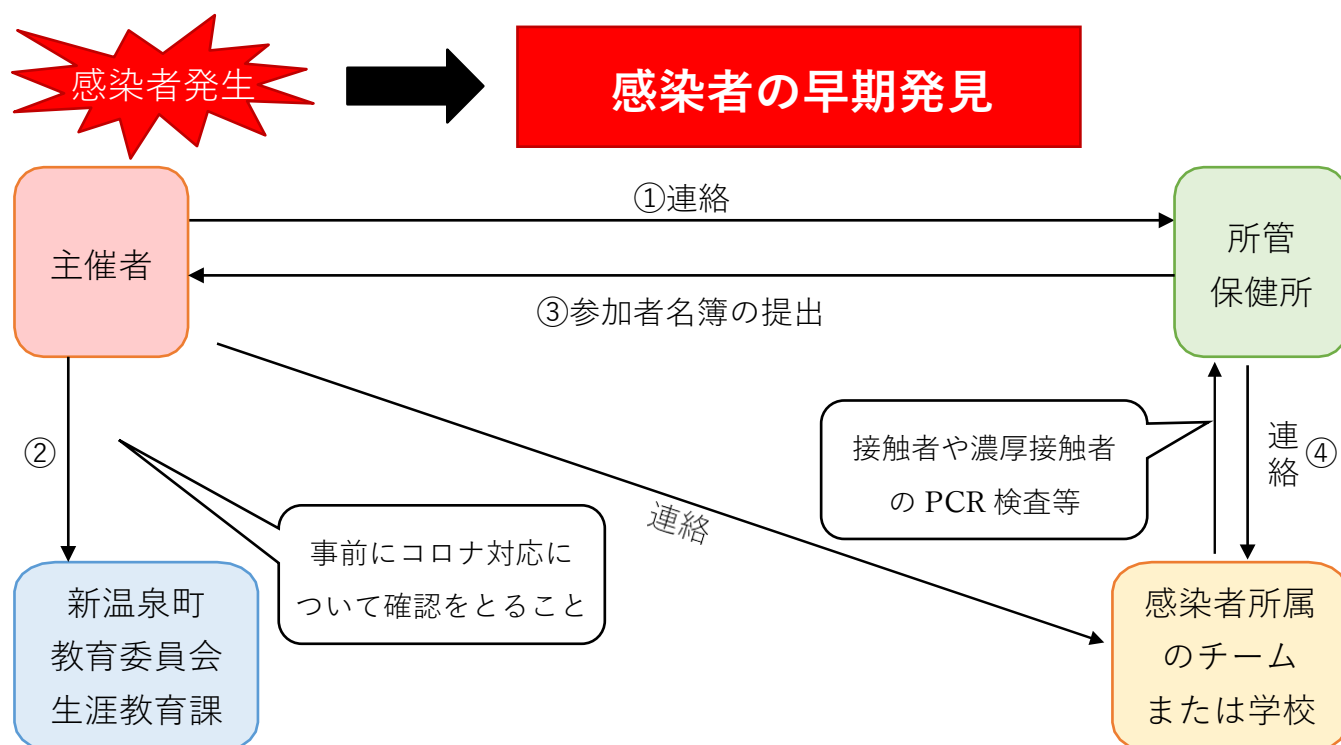


Ⅳ. 緊急対応〔感染者（罹患者）発生時の対応〕

≫ 大会等の参加者で新型コロナ感染者発生時の対応について

- 主催者は、大会参加者から感染者が発生したことを下記に連絡すること
保健所、新温泉町教育委員会生涯教育課、参加者の所属（クラブ・職場等）
- 主催者は、保健所の指示により参加者名簿、大会概要等資料を提出し、濃厚接触者及び、接触者は積極的疫学調査に協力すること。積極的疫学調査の為に、場合によって参加者の大会から2週間の行動歴を確認するので、記録保管等に努めること。
- 参加者の所属（クラブ・職場等）での感染拡大の恐れがあると保健所が判断した場合、保健所から参加者の所属（クラブ・職場等）に連絡するので濃厚接触者及び接触者は、保健所の指示に従い、PCR検査等を受診すること。
- 複数市町、保健所所管に跨る場合、状況によっては、新温泉町教育委員会生涯教育課から主催者（麒麟獅子マラソン大会実行委員会）にPCR検査等（行政検査）を依頼することがあるので、主催者は協力すること。

≫ 大会参加者に感染者が出た場合のフロー



V. 開催可否の判断

V. 開催可否の判断

≫ 新型コロナウイルス拡大による大会中止決定の基準

- 大会の2か月前に緊急事態宣言またはまん延防止措置が発令された場合（移動制限、不要不急の外出自粛、部活動の禁止）
- マラソン大会開催を管轄する自治体でのイベント開催の自粛指示
- 医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応不可
- 大会運営に係る新型コロナウイルス感染症罹患者（陽性者）が発生し、大会運営に支障をきたす場合

≫ 大会中止決定のフロー

